

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/04/13号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



米国とイランが停戦合意、100ドル割り込む

NY原油先物相場は、1バレル=117.63ドルまで値上がりした後、90ドル台まで急反落する荒れた展開になった。週前半は米国がイランの発電施設や橋などのインフラ攻撃に踏みきる可能性が警戒され、上値追いの展開になった。終値ベースでは、イラン戦争勃発後の高値を更新した。しかし、4月7日に米国とイランが2週間の停戦で合意すると、一時91.05ドルまで急落している。その後は停戦合意の条件とされたイランのホルムズ海峡の閉鎖解消が進まないことなどを理由に押し目買いが入ったが、90ドル台中盤で週末を迎えた。

米国とイランとの間で停戦合意が実現したが、ホルムズ海峡の原油・石油製品の流通が正常化したとは言い難い。イランと関係のある船舶が複数通過したが、安全な通航が可能かは不透明感が強く、依然として流通障害が早期に解消されるのかは見通しが立ちづらい状況にある。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (4月3日時点) は、原油が前週308万バレル増、ガソリンが159万バレル減、石油精製品が314万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

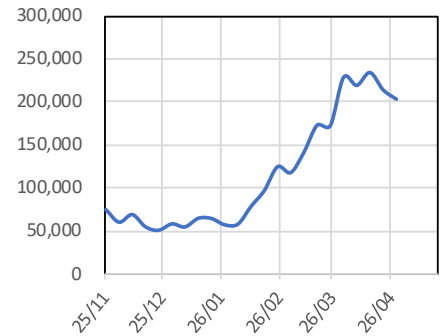
急騰地合には一服感も、ホルムズ海峡の開放状況に依存する

米国とイランの停戦合意が実現し、目先は戻り売り優勢の展開が続く可能性が高い。2週間という期間限定の合意のため、最終合意に到達できるのかはなお不透明だ。また、停戦合意の条件とされたホルムズ海峡の即時開放は実現しておらず、足元の原油・石油製品の供給障害が解消に向かうのかも不確実性を残している。しかし、米国とイランの双方が停戦で合意したことは大きな変化であり、改めて原油市場に投機マネーが流入する可能性は後退している。期近限月のプレミアム剥落が進めば、80ドル台後半まで価格水準が切り下がる可能性もある。

ただし、今後はホルムズ海峡の閉鎖解消が着実に進むかによって、原油価格見通しは大きく変わる可能性がある。ホルムズ海峡を巡っては、イランが航路を指定してイラン軍との調整を求めている、通航費を要求している、といった報道もあるが、実際にどのような状況になっているのかは情報が錯綜している。ホルムズ海峡のタンカー通航件数が増加していく見通しが強まると、原油相場の値下がり傾向が強化されよう。

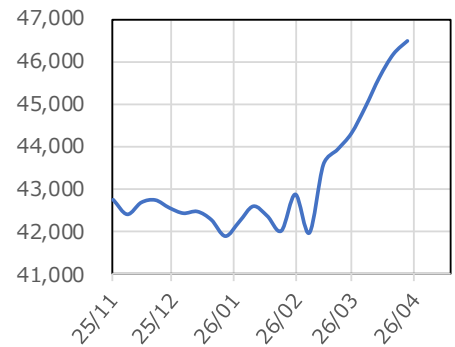
一方、現実にはまだホルムズ海峡の流通が改善していくのかについて、不透明感が強い。イラン軍の攻撃を受けるリスクなど、安全な航行は依然として難しいと船舶会社が判断すると、原油・石油製品の供給が停滞した状態が長期化する可能性もある。ホルムズ海峡では機雷が設置されている可能性も報じられており、流通環境の早期改善は難しいと判断されると、再び110ドル台での取引に回帰する可能性がある。サウジアラビアなど湾岸諸国では、依然として石油関連施設に対する攻撃も報告されているため、新たな供給障害の発生にも注意が求められる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



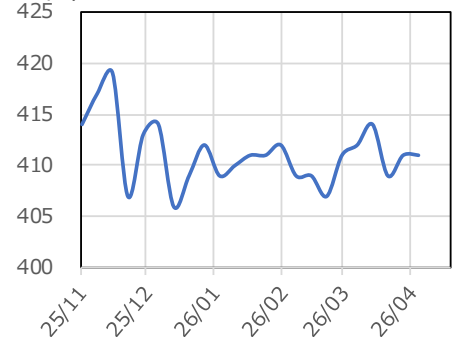
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

